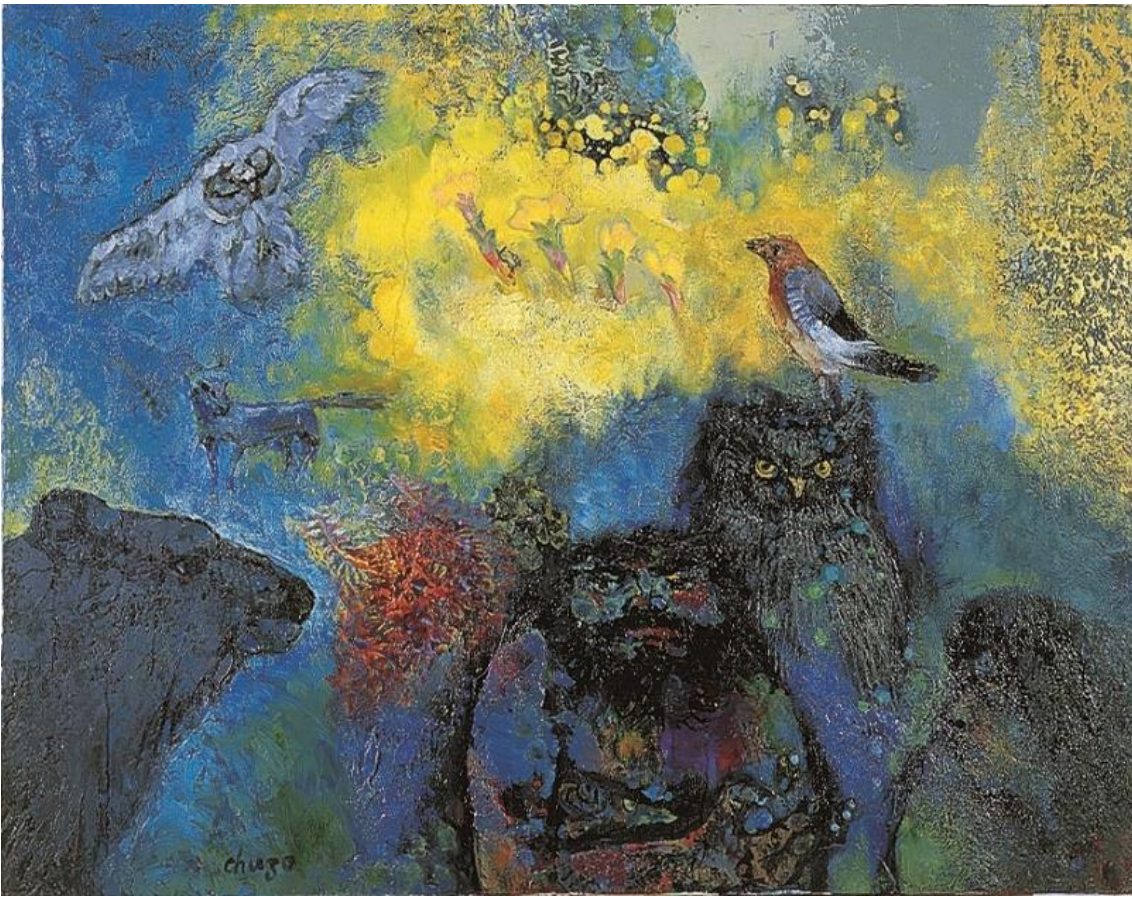


生誕110年

# 岩船修三展

## IWAFUNE Shuzo Exhibition



岩船修三《森の中の神々》  
1973(昭和48)年 当館蔵

### 2019年2月9日(土)～4月7日(日)

開館時間／午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで) 休館日／月曜日(ただし2月11日は開館)、2月12日(火)

観覧料／一般510(410)円、高大生300(200)円、65歳以上および中学生以下は無料

※( )内は前売り・リピーター割引・および10名以上の団体料金。前売り券は2月8日(金)まで、当館のみの販売となります(休館日をのぞく。ただし、2月5日[火]～8日[金]は販売)。 ※ミュージアム・コレクション冬～春と同時観覧の場合、一般640(620)円、高大生370(310)円 ※高校生は学校の教育活動(引率者含む)で利用する場合ならびに土曜日は観覧料免除 ※リピーター割引＝当館又はほかの道立美術館で開催された特別展の半券の提示により、特別展のチケット1枚が割引。(半券1枚につき、1回限り有効。半券の有効期限は、当該半券の展覧会最終日より1年間。) ※親子割引＝親子等でご観覧の方は各50円引き ※函館市電・函館バス1日乗車券、2日乗車券、五稜郭タワー搭乗券をご提示の方は、一般100円引き、高大生50円引き ※AGH道南割引＝「アートギャラリー北海道」の道南圏(渡島・檜山管内)の連携施設(有料)の入館券の半券または同連携施設で配布される『「アートギャラリー北海道」道南圏連携施設限定 函館美術館特別展優待割引券』の提示により、特別展のチケット1枚を団体割引(半券または割引券1枚につき、1回限り有効。)

同時開催：ミュージアム・コレクション冬～春「東洋の美 ころも、悠々と、あそぶ。」(鷗亭記念室)  
「鷗亭先生、ヨーロッパへ行く。」(常設展示室)

観覧料／一般260(210)円、高大生150(110)円

※( )内は10名以上の団体料金。

※65歳以上および中学生以下、高等学校の教育活動での観覧は無料。 ※土曜日は高校生の観覧無料。

主催／北海道立函館美術館 共催／北海道新聞函館支社  
後援／函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、  
函館山ロープウェイ(株)FM いるか  
協力／北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社



### 北海道立函館美術館

HAKODATE MUSEUM OF ART, HOKKAIDO

〒040-0001 函館市五稜郭町37-6

TEL:0138-56-6311 FAX:0138-56-6381

<http://www.dokyoji.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hbj>

## 【同時開催】水辺のものがたり Sight of Seashore



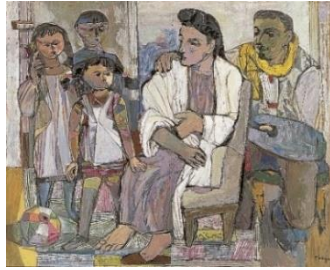
瀬戸英樹《海峽からの潮風(かぜ) 立待岬》2013(平成25)年 当館蔵

## 【生誕110年 岩船修三展】

岩船修三は、1908(明治31)年、函館随一の繁盛をほこった岩船呉服店の三男として生まれました。国指定の名勝である香雪園(見晴公園・旧岩船氏庭園/函館市見晴町)は、岩船家の別荘として築造されたもので、当時の岩船家の繁栄ぶりがうかがわれます。岩船は、函館商業学校(現・北海道函館商業高校)に入学後、美術部「極光画会」で油彩画に取り組みます。卒業後は上京し、東京美術学校を受験するも失敗。佐野忠吉の紹介により洋画家の青山熊治に師事し、絵の道に進むことを反対していた父からも認められます。1930(昭和5)年には帝展に初入選。1936年から、フランスに留学し、ピカソやマティス、藤田嗣治らの知遇を得ます。しかし、戦争激化のため1939年にやむなく帰国。その後、光風会展を舞台に活動しました。

旭川で終戦を迎えた岩船は、全道展の創立に加わり、1946年に函館に戻ってからは、赤光社の再建に尽力するなど、北海道画壇をけん引する存在となります。1960年代に入ると、独特の色彩感覚を生かした詩情あふれる画風を確立しました。1960年代後半から取り組んだアイヌの人々や神話をモチーフにした作品は、多くの人に愛されました。また、1974年には取材でアラスカを訪れてからは、アラスカの雄大な自然をテーマにした作品をたびたび発表しています。

本展では、岩船修三の生誕110年を記念し、当館のコレクションを中心にその画業を回顧します。ヨーロッパで新しい美術思潮に触れたのち、アイヌ・ユーカラの世界へ心を寄せた岩船修三の歩みをご堪能ください。



(左から順に)岩船修三《ピカソによる習作》1938～39(昭和13～14)年 岩船修三《画家の家族》1951～53(昭和26～28)年 岩船修三《貂の嫁になるのを嫌ってテンに福寿草にされた女神クナウ》1973(昭和48)年 いずれも当館蔵

長内さゆみ《睡蓮—雲—》2007(平成19)年 当館蔵

## 【水辺のものがたり】

「水」は、雨、霧、雪など、季節や天候によってさまざまに姿を変えながら、私たちとともに存在しています。清流や湖沼、そして海は、ゆたかな自然環境として私たちの生活に恵みを与えてくれる一方、時に猛威を振るう存在でもあります。

身近であると同時に神秘的な存在でもある「水」は、古来、数多くの芸術作品に表現されてきました。本展では、当館のコレクションを中心に、水辺の情景をモチーフとする、油彩、彫刻、書の秀作を紹介いたします。

## 関連事業 北海道150年【アートギャラリー北海道】みんなのアートプロジェクト

### ●ギャラリー・ツアー

学芸員のガイドとともに、展覧会を鑑賞します。  
日時:3月9日、23日、30日(土) いずれも午後2時～  
会場:当館特別展示室(要観覧券)

### ●美術映画会

2月16日(土)「描かれたフランス革命」  
3月16日(土)「りんごが世界を変えた・20世紀絵画の父 セザンヌ」  
会場:当館講堂(入場無料) いずれも午後2時～

### ●アーティスト・トーク

函館出身で、十勝管内音更町を拠点に活動している岡沼淳一氏に自作についてお話しいただきます。  
日時:2月9日(土)午前10時～  
会場:当館特別展示室(要観覧券)  
講師:岡沼淳一氏(彫刻家)

### ●絵本の読み聞かせ

日時:3月10日(日)、17日(日) 午前11時～(約30分)  
会場:当館特別展示室(要観覧券)  
出演:函館絵本の会 銀のふね

### ●ハコビでお茶会

立礼の茶席、荒川武夫作・金子鷗亭揮毫の茶碗に触れる鑑賞体験、開催中の特別展ならびに常設展の作品解説を行います。  
\*1回につき30名程度で実施し、随時ローテーションします。  
日時:3月2日(土)午前10時～午後3時(予定)  
会場:当館ホール、展示室  
席主:内山幸幸氏(表千家同門会函館支部)  
料金:一般1200円、大学生890円、65歳以上・高校生以下580円  
(特別展・常設展同時団体観覧料+茶菓代)  
\*茶券は、当館喫茶コーナーにて販売中。なくなり次第終了。  
\*当日券の販売あり(料金は同じ)。こちらもなくなり次第終了。



読み聞かせ



ハコビでお茶会(平成28年度)

## 同時開催

## ミュージアム・コレクション冬～春

### 東洋の美 ころろ、悠々と、あそぶ。(鷗亭記念室)

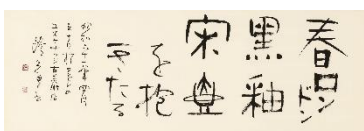
書家・金子鷗亭旧蔵の書画と工芸作品により、東洋の美のエッセンスをご覧ください。



《青磁陰刻雲鶴文茶碗》高麗時代 当館蔵

### 鷗亭先生、ヨーロッパへ行く。(常設展示室)

金子鷗亭は、書の普及のためヨーロッパに度々おもむきました。訪欧にちなんだ作品、西洋文化への深い関心があらわれている作品をご紹介します。



金子鷗亭《自作句 春ロンドン》1993(平成5)年 当館蔵



### 交通案内

市電:「五稜郭公園前」下車⇒徒歩7分  
バス:「五稜郭公園入口」「芸術ホール前」「五稜郭病院前」「五稜郭」下車⇒徒歩3～7分  
タクシー:JR 函館駅より約10分/函館空港より約20分  
駐車場:函館市芸術ホール駐車場をお使いいただけます。  
\*当館ご利用の方は駐車場料金が2時間まで無料になります。

## 北海道立函館美術館

HAKODATE MUSEUM OF ART, HOKKAIDO  
〒040-0001 函館市五稜郭町 37-6  
TEL:0138-56-6311 FAX:0138-56-6381  
<http://www.dokyo.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hbj>